

広島市植物公園 見どころ案内

コショウノキ

(ジンチョウゲ科)
沈丁花に似た白い花で、よい香りがします。初夏に真赤な実をつけます。

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)
中国原産。黄色い花が咲いています。枝が三つに分かれて出ることからこの名がつけました。和紙やお札の原料として使われています。

トサミズキ

(マンサク科)
名前のお通り、高知を中心とした四国地方が原産地。つり鐘状の淡い黄色の花が、鈴なりになって咲いています。

サンシュユ

(ミズキ科)
中国原産。薬用植物として江戸時代に伝わりました。黄色い花や赤い実が美しく、庭木として全国に広がりました。別名 はるこがねばな 春黄金花。

ゲンカイツツジ

(ツツジ科)
玄界灘を囲む九州北部、中国地方、対馬、朝鮮半島南部に分布するツツジ。赤紫と白の花が満開です。

サクラ

(バラ科)
カンヒザクラやカンザクラなどの早咲きのものが咲き始めました。

ヒアシンズ

(ユリ科(キジカクシ科))
色とりどりのヒアシンズのほか、スイセンやムスカリの花芽がつぎつぎと出てきました。

ウメ

(バラ科)
ウメ園の40品種 130本余りの花が見ごろになりました。白、紅、桃色など、華やかに咲いています。

ウメ・藤牡丹枝垂れ

(バラ科)
薄桃色八重の遅咲き品種。枝垂れた樹形から、鯉が龍になった中国の伝説にちなんで「登龍梅」の愛称で親しまれています。日本庭園では、ウメに続きモモの蕾がふくらんできて、早咲きのモモ園芸品種「雛遊び」はもう咲いています。

ゼラニウム展

～4月22日(水)
コレクション数日本一を誇る、人気のゼラニウム展。八重咲きや星形の花など様々な園芸種や多様性に富んだ野生種を展示。花は地味ながら葉に香りがあるゼラニウムもあります。

ヒスイカズラ

(マメ科)
フィリピン原産の、緑がかかった青色の花をつけるつる植物です。大温室の一番奥に長い花房がぶら下がっています。つぎつぎと咲いて、5月初めまで楽しめます。

草木染の世界展

～4月2日(木)
いろいろな草や木を使った染色方法や芸術的展示をお楽しみください。
[展示資料館1階展示室にて]

